





タ不言を 其三座學 其三座學 属

不思正非

其一扁桃腺炎

其二耳下腺炎

耳下腺轉移炎

其四乳腺炎

其六攝護腺肥大調量丸炎

外科部於風者之八目功

石黑正非片

混スル者八往々此病ラ發ス而シテ四肢三發ス 傍皮下蜂蜜織ノ表面水脈造ラ發炎スルコ ノ感侵二因ラ特發ス又局所炎症二曜レ 殊 · 壞疽膿毒等 · 戶林巴如液 · 膿汁、皮皮 水 脈炎八刺傷截傷銃創、繼發し或八一種大氣 科説約卷之七 水脈並水脈腺炎第六 其一水脈炎 石黑忠惠 八其近 液为 7

蔓延シテ皮表二汎ク赤色ラ見し無ラ赤斑ヲ現 クハ原ヲ膿電ヨリ發ス試三二指頭ニテ按セハ 急慢各性二時ラ症候同シカラス急性病初二ハ 患三雅レル水脈系管赤色或ハ赤色ヲ見レテ僅 テ恰を罹 硬結シテ些火ノ抵觸ニモ刺シク痛三其線速ニ 症 ルラ常トス 腫起心恰を赤線ラ引クカ如し但心此赤線 候 個ノ赤斑終ニ合シテートナリ腫脹 ノ如シ加之其患二雅レル水脈二連

特 其 他 伹 傾 高 谯 深 2 肥 疼 時,機 部 大= 幾 般 八十 听 公痛八急性二比人二因テ司所大 發 脈 水 7 腺 脈 按 水 トニ 毒諸 脈 炎 セ F 紅 1 左 炎 腫 初 症 症 確 7 劇 硬 ラ發 超八發,近 徴 結 ス 候二 セハ 久シク 罹 シラン 7 力口 日初シ 因 熱。所 码 7 水 ラ 〇慢 水 腫 2 見 + 7 テ 脈 7 ス + シス テ 腺 力 ラ 知 症 整 1 硬 如 始

中二充積又或八血 急性水脈炎八或八消散之或八化膿又其化膿又 八者八膿汁其所三潴 轉移湘 八血脈中二入八者二比セハ危篇ナラスト 9ナ 在八結組織光無二因ラ前篇三所謂無様 ス 本本 溜 斯ノ沿法ノ如シ冷電法安請等是ナリ 頸 透スルファリ其腰汁。水脈中二入 シ又八水脈實質患。罹 脈水脈二吸牧セラレテ他所 溜し或い膿電ラナンテ 石黑政 1) 為

昔時 症候 急性症八腫脹硬結疼痛心僅一按 近傍組織,炎症後二發之或八一二,全身病 水 用セス 涌 之八梅毒腺病等 一發又亦急慢而性 脈腺炎、四肢 之炎勢劇シケレハ随于發熱ス若心有害,原 斯热二併 機電ヲ探索シテ截開シ當今ハ此法ョ賞 其二水脈腺 發スレモ多クハ水 重力 炎リン 作過度或八損 、歴スル 脈或八水 傷二發シ ナ 7 1) + 脈 モ 劇 腺 例

波 者 水 因 症 脈腺 候 動为現又又水脈 無 レハ轉シテ慢性トナリ或ハ化膿ス 除去人口八漸々消散又十雖王其原因除去七 IL. 1 一天終三數腺习侵 ファリ ヌルトニ物 炎人化膿又ル八腺ノ實質上其近等組織 腺炎稍 經 二週ノ差アリ其限表部ニアル時八著ノ 過ノ在其ナルト其性ノ頑 着らり 而シテ 大ナル動脈ノ近傍ニアレハ脈 ラス急ナル者八四五日緩ナル 水脈腺炎,家王者目又可 腺ノ聚合セル部二一所膿 に腹腫ラナシテ後 固ナ 12. 破 開 是

水 發 全 創 近傍,水脈 司 硬 所 結ナリ此二症共二或八慢性炎上併 脈腺 發 ク疼痛ナク或八腺,結組織流無人為三 損 ニシテ 組 織二化機スル所アリテ在前套サル時 炎化膿 ルハ意 僅三疹 見スモノ 動 ルモノ 腺 モスレ 硬結或八腫脹又又單純八豆 セサル時 外二稀 卒 失血,虞アリ但 ナ 水脈腺 1) 二多丰轉歸八肥 英 炎ラ 八四 肢 發 - 僅 ス 並 セ

度 夕亦高祭 名 火 鼠 三適 例之八陰 述ル 他諸 水 蹊 t 水 腺 脈 1) K 章 是 上 脈 + 般潰瘍/為二水脈腺 殊 所 梅毒性炎,論 腺 , _ 具二下疳ラ = モ 腺 = 他 腫 多 カ 脹スショ水脈腺ノ交感炎腫或八潰瘍ョ下肢二發スレハ 亦之ヲ發スレ氏嚴踐三比 丰 梅毒 二因 八麗獎水 發シ傷 、别 一附録 テ 脈 水 炎り發スル 強樂り貼 腺 所化 腺, 棋毒篇二詳 テ 腫 項 脹 並= ス

其 炎 併 + 珠 腺 腺 他 病家,水 ノ如シ野 水脈腺 易 7 1 F 9 إلا 連 7 莊 脈 ラ多 謂 顋 7 版ラ以 腺 腺 又又、脊椎炎腦水腫結核 須 歌マタル 一悉 ク 病 腫 性寒騰腫又、腺 癌 脹、一, ファ Ŧ り條う参互スでも 第 福病ノ緊要ナル一証候 腺 策 通 腫 徴ニン ヲ生シテ トン安保 病 性資 病 ラ第 等 湯 念 頸

陣 宜シトラ失シテ安一動作スレハ急一種大 貼 斥 既機 下人著千水脈腺炎下雖 天安保軍 之十 习得 丁幾了金操之歷定带力施之方像的了奏、若 八消散レ又炎勢强カラサル軽症下雄し安保 ハファリ炎勢動シケレハ寒電法ラ行と 清, 数 養之以 膿 ハナリ故 膿 ナリ或八既二世 伊催 セスシテ戦開スルハ當令諸家、擅 アラハ微温 進之化膿セ八截 三 鼍蹊水脈腺,慢性 割之一後大一化機人 湯, 行也温巴 開上千樓,此 化膿 布ヲ

陛 用 ル 7 大 若 极毒篇 太郎 開 点 心壓定帶効 梅毒 妻孔 引作為 人 月 上托 合スル 八之习截 換八患處ョハ 瘘 性 L4 ヲ参互 ノ者 孔 若 E 數々新 i ラ奏と 1 機潰 诸 ス 小雖 タタ 除 家好 ル 務 者八壓 表兴 モ別 セル 生 ナ テ他二果 スル - 症 メラ清 二治 部 定 1 Ę 法 編 潔 1, 烈, 及 ナ版剣 帯り 壓定 水 7 , :- .2 スハ 將 艺 H. 處 得 腺 施 来卷 膏 ラ轉 735 7 開 但

腐蝕性其シキ者八石炭酸ラ六十倍,水三稀釋 外科語於吸着芝生 雁 神經八血管ラ受ルー多カラサルラ以テ炎症 ン外用に供シテ偉効アリ 脂 鞘炎症:惟此時八神經滋養,受,1 1一神經鞘=比セハ稀ナリトス然レモ神 化センメ或八神經實質中ノ結組織於無力致 神經并神經鞘炎第七 經一實質大:變異人儿一アリ殊二神 少ナッ随

雨 麻 桁 一運 官能一関ス例 キ炎 毛或八間 施 7 7 神, 17 証ナク又 其 要 及七痘 一神 ス 又八知 j-・レ 神 歇 1 學リリ痙攣八 立式、持續シテ 經 經 往 器械的變化 劑 痛 痛ニシテ運 あシ 丁其勢ラ奪 之八破 ッセ 痛 3 妨 十名 7 傷風 アリ ラ 碍シテ之ラ治 " ル 等 其知覺了 時 ノ著 動 7 然 劇 ·妨 7. P レド 如中 シゥ 1) 7 目ス可 碍 于 至 其 疚 是 蓮 妨 ス ス 漏 動 73 碍 7 1) モ إلا 費 症 ク

其 起スト 或八冒 ラ 17-多 説ク 八往 神中 准 久之 71-生 未 nt 經鞘炎。 寒等二發又以時間二寒暖ノ度俄 ンノ、 而 シテ 7 症 ヤ 左 3 2 顯微 ~%: 頹 其 沿セス又八終身ノ患ト 忽手治スル 一因 神 一川 面神 ス 原 女山 神 經鄉 因い数多 鏣 ルモノハ樓 檢查ニテショ看破スルニ 經 經器質一變常了受儿七 痛 維ラ壓迫スルニ至 並二將神經 ファリ若 7 レモ 麻質私 就中著丰 1 神 痛 + 然型 或、外 7 1 發 渗 至

症!候 其 益 其二神经損 ヲ受ルニ因ル者ナリ 骨神經管或八神經系雕等:壓迫又八產 見ル「多シ 因 三病的贅生物又八血夜渗出八為二腦或八頭 此 瘢 痛 痕, モノ三ハ瘢 ラ牽引スル 一,症候八疼痛ナレ 傷三因ル者一八全夕神 為二生マルモノハ切断術後等二之 狼ノ為二生スルモノ 7 劇 甚ナルモ FE 其 漸 ノニハ炎症 經 徐二 捕 + 發 傷 ス

迫 其 其 其 女子意名 葵 惠 輕 抵 他 ハかテ 女口 俄 神 爾 漏 部 日二 力 例 抵 小别 秋 經 7 疼痛 稀 痛 受 觸 歌 フ 之八神經 カ 發 = 2 ルトモ スレハ ノ性ハ多 ナリ 發 甚シ 如 スル 7 北 ク I 作 别 事 剔 支 誘 1 ħ ス L 出ス 起 ク Ē 涌スレ 1 二惠 K ル 7 差 ス 間 間 ス カ E ル ル 又 , 歇 歇 7 女口 7 發 其 F リス 评 ,時 图 性 キノ + 1) 神 ノ骨 强 -2 ナ 時 疼 7 異 + 7 問 i 經 管 痛 i 2 ヨ 7 1 長 テ ル ニハ 17 1 テ 周 持 Ł + カ 的 圍 .押 ノ皮 發 而 **计生** ラ 1) 壓 i 刺 性 肉 ス 唐 且 テ シ ス

上来伸紅痛力治スル内服薬り稱スの者 神經漏暫時ニシテ消散スルーアレモ多クハ久 性學急り無發 この多少り患り遺し不眠脓管系神經系、刺衝 溪江城藏養妨碍等,為二全身衰弱不病性 、例之八族汗津重,分泌ョ増進スル 八終一快々下上于鬱夏之成八白彩习 スルーアリ或八分泌機

水二号三溶 40 ッ特 注入法习賞用又其 フ、 局 17 滴 効 丹於 八莫爾 三用ノル一法而己電氣 1 4 勢トレ唯其性正シク特 酸 15 八大量 亞度魯比涅八一八月海 鲜 規 至五滴 1 三五滴 尼涅八發 E 絶テー 規 り注入ス發泡 い方題酸 尼涅律 乃至 非温或八亞度會比 時試驗人 作为城少又小 --滴! 莫爾非沿上山 劾 7' 稱 忠吗 烙 り又假令如 TR 偶 フ定 鐵 水 用 けっこテ £ スル人 ,皮 及三落 :早. 凝 1 テ 古 確 净 北 間

神 總方功 續 幼 経り難 一卷 氏未 後) 1) り全り離断スレハ疼痛ノ治スル1著シ 静衛 石 可心此 ラはと静 夕信 上上原 部 ,他人 ・キー 衛 称 ヨリ脳 桁 ス可 7 7 行フ 勿 因 12 7 論 新 神 行 = 維二因う道達スルカ 而 力 可之安二手 到 近十所三在方神 ラ 己但心神經纖 ナリ故二其病 経中心ニアル フニハ単二截入法 ス若 り接續スル特八來 し百方効 ラ下スコ 円ヲ 維 モノ 經 1 + 八川諸 这 " 7 截斷 脳 ケレハ 痛依 施 勿 術 連

神 其 常 觸 何 軀 人三 幹 新 顏, 漏 A'E 面。 痛, 龄,77 义 验 疼 稀 神ついウ 神 神 却 ナリ今 演 痛 12 經0: 經 經。 痛" 痛。 万夜 面 7 -埔 拘 丰子" 丰" = 發 痛 枝 祉 進 シゥ スア、 ī 2 岁 ス スル Fo 7 ルラ ス 7 遭 局 减 眼。發 12 ラル 1) 12 退ス 窩。 7 部 リギ ス其 逢 7 甚ン ス 神 スア 多 7 1 12 皮 各 7 經中 ク 表 4 痛。 枝 呼 男 四 1 肢之 7 女 ア、子 站 共 輕 因 各一 } ウ 二中 テ 証 前 強 頭 大 1)

减 清 -- '. 脈 眼 既 义-高 劇 汽 神 度 it. (1)Z 步。 上绿日 2% 於清 で疾 大水· テッツマリ 芝川者多心其 137 7 F 二枝 (H 2. 1) 清美 此原三义神 液 那 其發 べ 前 寫 後高 山村 久 介 額 セルル 多 ラ ì オリョリ 千上對枝 沙 水 及 K ク 他 172 增 N 去 拔 対け ロタタス 服 經 遊馬 除ス 透 = 原 內 德! 眼 H 神 肾 1 角 及 眼 トモ 球 7 驗 眼 松型 12 者 杖 痛八 .7 7 向于校 驗 向 火 7 腫 7 7 兴工 17 E F 動 17 脹 腫 眼 モ 义 痛 E 殿臭、 并 疼 者 發 毛 ス 扁 様 作

用 為 時八惠二雅レル 者アリ言語り為二俄然来ルコアリ或ハ 上唇龋数口卷。要死又取 タ末源 法八麻 若シ神 二菱小スル り電エテ 沙法 アリロ内 眼窩 方 醉 經 次二葵 藥 涌 神經の截斷ス可と但シ可及 共二寸 粘膜:食 久しり ,皮下注入法内皮法烙鐵等, ファ in 偏 交为 痛 1) 面ラ學縮シ津垂ノ ナキ時ハスコハ氏り 治セサル時、類 スルファ 物, 初 觸 因ナクレテ發 り既二族 ル、二国 汾 前ノー 的 沙增 痛 祁刀 法 起 脳 y ス 部 進 稱

近丰部 其 為神 KY B 其疼痛,原八坐骨,時孔ョり始マリラ特 二時骨神經痛了ウラ 従フラリト 1000 年了,其分枝,波及又思三雅レル下 續又九時八下收,麻痺或八半麻痺或、姜 一个 經痛 一共二三角形二截除セン 性疲學の無ルファリ而こう神經漏久之 7 7 テ、且眼窩骨ノ下 ラ無ルモノハリナルト氏ノ截 少 + 力 ラ 又但心勝神經痛八樓麻質 眼緣八神經八出 八多力目寒二發 丁ョ 要ス岩 肢 除 神

斯療法:因 関 運 新 其一小 ام 動神經 肢,官 村 係 二属 レ又 スルモノ 此在二八假令疾 是麻痺八著 ス以篇二於テ八唯其病機治術ノ外 其 莊 二麻 リ又八生盛期三發スルファリ生盛 病二雅リテ終二麻 と難い若し時 テ ラ酸スレハ 澒 俄ニ治スルファレハ 7 説 + 原 神經の截除スレハ全 痛 因ヲ関エスレテ + 1) 劇甚ナリトも 神スル 須 者八專う 俄 神 科 秋、 期 發 内

熱搐學等ラ發 二發 事 + 數 モ渡ス T = 疼 スル者八先 スレハ健 之 引 内 EJ 上肢二少 惠 ニシテ治スル者 榜。 痛 12 梅暫時ニン 代直腸 轉 ٦ 妨碍ナシ患肢ノ皮表 シテ 肢 スルヿ ナ 7 + 3 後 " 脳 顏面等人麻 ") テ 麻 推 偏 充血諸症斜視咬滋眠 モ温 速二消 瀬ラ 侧二 P ハサレ 度減少スレ り其甚シキ 致 多 }-散 ス通 痺り魚 クシ E ョ寒暑 ス 12 常 41-者八 子又 者 両 F Æ 矢口 肢 P 推 久 20 テ 稀

難 終 果 內 F 統 内障等,致ス若シ麻痺速三消散セサレハ ス 12 例 膊骨, 関節頭。 品 作 ラサ 向 脂 麻痺へレハ 2 " りが助 ナシ岩 化:他股八生長スレ氏患部八 川竅止スルラス 肩 補 垂ス醫士之ヲ関節 トモチョ放テハ復 肉 胂諸 ナル時八殊二 シ 以思ラ蒙ルコ 一肢 屈 筋,力偏 有胛骨ノ関節 筋麻痺スレ、 テ萎小り証候ラ 勝 種々不良人 忽千 高二 有 高ラ 復 + 胖 脱 水 ラ 納 脱 平 ン全膊 £ 自 見 肚 ス ス 生 ラ 1 形 シ 12 長 テ 腿

病原 筋 是 足 巫 部 向 游 偏 ž 部。 が諸 勝 盂 致 均 ナラ スリシ スな麻 亦 癴 區筋 骨成八脊椎 症 スルフクシ 1 病 八山篇二論 痺 的 뷏 麻 變化 神スレハ 偏 更 侧 ク 二腹 ヲナ ク焼 = P 止 シ ヒスシ 油サ リテ シテ所 テ = 向 ムファ 呼 伸 十四 謂 デ 筋 テ 馬 久 ナ ì 得 暗 足ノ 拘 開 ス 急 形諸 7 短。抗 ス 强 類 治 緒 スン若 7 病 壮 ラ 1) セ 致 ì 答 函 ス

為二發 熟 動 與 者、腱 二創 ヨ試 機 ヘテ滋養ヲ事ニス銭 物浴等是十川或八麻操习行八之八未 痺 浴法习試《例之八温浴冷浴。海水浴。 リ見けルモノハハラタイ氏 傷好 ス但心純粹,運動神經 用スス偏 断之或八毀 一截 離 海八一區 湖 删 術 一种 錯神経り損ストハ麻痺ニア 方, 屈 傷シテ其道達 1 筋肉ノ 筋短縮シテ 剛酒肉等是ナリ其 ヺ 施シテ 運 ヲ損スレハ 動力主 ノ法ニ 確 力 運 交为 ヺ 一字ス 動 妨 7 夕脂化 E 因 1) 7 他種 純 テ電 女方

ソテ後續スルニ至ル又致傷甚シクレテ遂二復 速 だり 症 二連 トを截 二八黎ノ其景况ヲ察心務ノテ患部ヲ運 妁 スルコ族 戥 或八摩擦之或八按摩之或八電氣习流通 終二胎化シテ姜小スルノ恐アリ故一如 傷スルフ ラ稼 スレバ道達カノ 面五二客 兼、 ハサレハ其神経二主宰セラル可キ Z 防 ル 稍 スルラ要ス 大ナル時、數月ヲ經テ後 接スルカ或ハ截 + リ又假令一且 復スルー論ヲ俟ス然 十五 神經力截 面生長シテ 動 此

证 其三末稍 夕子言祭 電氣 使 面 症二於テモ 次 并二血管二異常十 恢 繃帶或八外 痙攣八通常偏方類面筋,慢性攣縮 因儿 テ患二曜ル者 用セサルモノの動モスレハ此患二雅ル ノ東ナルモノハ患部ノ 用法ョ以テ缺 其三症變力 麻 痹 湖 務 科 八筋纖維ノ養小二起原シテ 意 ソメテ 器械等ノ為二久シク屋 ナリ此症通常四肢二多少し 運 丰 ムスとこ又ハ ク可カラ 動セシノ且ハラタイ モノ 瘦 サル治 脂 削 化スルフ脱 ナリ而シテ 法小 迫ッ受 神

性頂因ナルモノ多い若心病原像麻質私性フル 强处、其原理来夕詳力, 時,學有質樂三消炎法尹無用又彼人麻醉樂 的學編スルー甚シキ特八腱武部行ラ行 キュアルカ放三其効ラ確定と難と又一方ノ筋 左ノ一症ヲ説クノミ 追樂衛泉等八殊効ラ奏スルコアレルが小数ナ 頭原指京等アレモ皆畸形篇二讓リテルニハ唯 モノニン 云疼痛习無ルモノハ殆小稀 强痙 テタニス漢医所 ラ サレ氏其症状ラ以 調 被傷 1 其

吉 翁 罹 ~人八些火, 受 病 小叶 的 " 可き素質ラ遺傳スルモ 東 索八八斉職ョリ 强 因 者等 着 传来 極い危篤ノ一病ニシテ 病ニテ父 衛元威シか モノ ナリスト ヺ 八原 質。 論 創 tho 和性。 因: 子 2 傷ニモ亦之ョ 共二党レン者ョ 之必ス 強症割傷が 口 办 大口 行スル運 覺神 , ル氏ハ一種強 刺傷 强。 强 發スト言い佐藤 7 痉等 薤 IJ 經僅少其 雪 テ此素質フ 動神經大二 驗 P 1) セリ 痙= 恵ラ

症候 婦 傷患者将二强 + 数 故 寒暖急變不此地 一緒邦或八寒帯地方に比スレハ山 人二稀 スル者三發スト云フ北實ノ男子 因ノ第 シテ全ク之ョ新 ,别 ナリ面シテ俄三温 一十人假令八日中 ナクセラ發ス但 痖 發セント 離セス殊二其所三異 度 二於テハ 八温 スル時八傷處就 脉暖 日二段シッテ 多クハ神 病 = 23 温 甚多多 度中 之夜

是 强 驅 等 シテ族 症ョ發 嗣 症 テスト ナク俄 ケハ 前 様 液 謂名 涌 驅 7. ル 頸筋 種 症 シ全身、 痛心津 = 角ツ 7 偏 弓ク 力 7 リテ 便」 同 野筋攣縮ン 牙関緊急 ン強 為 並 交後 刺 古背 シカ 張 = 垂粘液,湧流シが終三全 終二 屈 屈 衝機亢進シテ ナ友 曲 筋 ラス 儿张 曲 强 スル 强 ス モ 咀 涯ラ 痙 12 者 者 嚼 ス 發 筋 12 重 7 7 者 1) 1) 及 强 睡 ス或ハ山 眠シ難 痙 7 7 ス テ 前 身 P

共 經 1) 思ニ至テハ 者 劇 過 强 来 八二三日緩慢ナル者 八幸二治薇 淫 困 ナル ラ割視スルニ電モ病,所 難 强極八暫時ニシテ死ニ至リ之ニ 者 死=瀕 モノ + スルモ リス 然 レル通常見ル所八全身 3 無下疼痛 に強 1-产 雖 U 如 路比 猶 モニ週ラ 電も造 促進ス而 流汗心呼吸言語 稀ナリ ヲ見 出 ス 次

液 室 療法ノ主トスル所ハ光射劇シカラサル幽静ノ 或人,說:因上八神經鞘一脊髓膜上:多少血 リ可 八諸法 -- 居 充張スト言フ然レ氏强症三雅レハ者悉の然 品三ラ其聲價最モ高 り諸 カラサルモノハ 方共一功力之古来實驗二於了此 及とすラーレナリコロアルヒダラー 般ノ 刺 衝 7 阿片劑 遊ケン八强 キモノハコロ トス又 :陣. 近時 劇 烈ナル 7 病二

上八二十八方至一分ョ水一号:溶解之發作時 供スキラーレハ社々奇効アリト讚賞スル人ア 皮下:注入之或八一写乃至二写力灌 キラーレハ近項麻醉劑トンテ賞用スル者ノ 液ニレテ七人之ヲ鉄二金ラ毒箭ヲ作リ戰闘 氏予未りどう實驗セス 故二近刻,藥劑書ョリ欽出之于其性效 書又柳此品八南亞米利加二生又八毒草 センム牙関緊急レテ内 八十五人乃至三十八月溶解レテ頂窩邊 服スルー能

量僅二二三川尾蘭ニテ速効の奏ス須り小心 殊 = 横 試 シテ之ヲ用ユヘシ スレハ破 ユレハ肺ノ豪籥ラ廢止シテ乾ル〇醫樂三供 狩猟=用二益と其効分ハーキラリンナルモノ 舞蹈 用スレバ専ラ運動神経ラ麻痺し時トレ こテ藥用:供スハ八越吉斯ナリ〇健體! 硫 紋筋ョ麻痺センム若シンラ大量三月 病及心斯的見規尼,中毒:効 傷風三州七テ律効ラ奏 酸キラーレラ皮下注入法二供又其 殖 澗 アリ 酒客

POT 底 勃 度 -滴 以 不良或以創 E 不, 以赞, 7 7 齊 1) 水 ヲ與へ香蜜 其 二於 H H 淮 全 酸 他 中 ノレ 文 肠 甘 數 テハ莫爾比 口二害 微 (承) 摸 法 滴 7 田 ラ 温 典 尼亞等ノ 乃 阿 稱 内 至三十 浴 7 片 7 ス ルニ 若 服 用 並ニコロ 酒 水 涅 又英 兴兴 + 滴 銀軟 PD + Æ 因 ラハニ 米 類 テ 下 ラ 7 諸家 高品 雨 發 ハ ス 7 + スル 桶 1 7 水 ル 灌 擦 滴 用 囬 1 心吸入 入法 者 酒 腸 盐 2 73 = 賴 至 八其 义 ì 四 テ 施 应 流共 介 = #-所 痕 渡 -

共 痙 和 診然 思 氏 = 為 二世 子 効 假 何 發 車 + + **死兵附蹄鐵師岩長德松八萬知** 强 經 力 今 ス 斷 是 輪 疰 創 .驗 術 7 者 二十 ナルヲ ノ為三手 , ` U 發シ = 切 7 不 四歳 斷 施 頰 良 レ 麻醉 析八十 B 知为 1 テ治 創 膇 ノー女子) 處 劑 サレド 7 北 セレ 挫 並 7 效 病 + 傷 截 7 沃康丁 こテ 類 : 好ク「ラレ 7 i 除之方治 發 7 1 ス 强 木 涨 記 1 庫 般 縣八人 棘 £ Æ 1 癒 ノア 7 既 2 2 發 刺 クロ 用 予 又

ラ塩 目 體格強健平生疾患于心則治六年九月九日 網帯りな又其夜眠二就クモ常二異ナルフ 失 川學之大二緩 田弘靈酸莫爾比涅半氏,皮下注入又ル丁 十八十一時候二四肢顫振次产全身學為 馬蹄鐵可什又几際誤戶左無名指第一節 去上醫官二就テ治ラモフ醫官乃天冷湯 下因難不既二七牙牙關緊急言語不了眼 神變ナツ割處惡兆ナレ隊附醫官車 倫身强 直上テ騰然強瘦ノ証り呈入而 解い言語以シク解 又可ク

夜二或八三田或八五四學急發作又九月以テ テ八十一度二至り諸症稍緩解人然と E 醒覺又覺後諸症頗几减退又發病以来食力 時擊急漸々弛 院二送八此特眼搏一百樂急復發心班日二比 水下几可十二至儿其望日之习擔印心于本病 サルラ以テ輯汁並三鷄美汁ラ與八川 ト二十八ラ水二溶解シテ灌肠ス解後 ブランテー レハ諸証取を劇シ予直ニコロアルヒダ 後:終二眠二就 酒 ラ與 フ十二日午後眼搏 キ四時ノ經テ F. -海シ H ラ 用

15 時 日 明 ----水 衛子 "3" 發作二七 延 报 71 料 少量ノ 主 テ 共二懂 照 退 テ 和 和 症. 院又其 站 檢シテ其 治 i i ソテ 日 タチつ 法升 甘 テ テ 月月 二王 一日三次二 頓 汞 言語スルフ 病 7 塘 胖 施 り臭素 17 爽へ吸 網膜二充 7 セシムレハ 泔 ---井スル而 3 スルニ當 12 月 角 分 F カロ 7 联 4 十六日二 加. 僧 7 已軍 ラ 得 セシ ス 每 貼 付 テ思者 三十八 11 用 タリ秋レ サシム 醫内 必 ヲ認 至 ス 1 湖 (E) ラニ言 15

醫學校治驗録二載テ詳カナリ予爰二以一病 フテカ父、指习截傷し强症习發し方態し姉 一養日以病二雅レル時 剪ヲ以テ指ヲ傷ケ水強症ニテ難レタリ故 樂コロアルヒタラートノ性効治縣八東京 症ラ實驗ス先哲果ンテ我ラ数カサルナ 遺傳アル說尹疑上後佐藤新ノ說ヲ得テ今 謝セリ鳴呼予先二ストロメール氏ノ強 帰ルフラ得ル何等ノ過幸ナルヤト深 歌ラ掲クルハ強種二遺傳アルフラ 既二命ラ決セリ今沿 疸 1) 1

限貧諸器炎第八

ル時二發レテ流行二雅レル一数トスル二足 寒後 一特發スルーアリ又八咽喉粘膜加答見炎 **恢扁桃腺炎、雙方共二患二催ルョ常トス冒** 任於之民八麻疹,猩紅疹,其他發疹病人流行人 其一扁桃腺炎ドンシルリチで又

四因

症候

學學文法

或八墳之或八 腫 壅 至レハ強 7 見 品 患者 得 垂 解し難の呼吸甚の困難へ時 脹 檢 桃 疼痛。按 為 涔 腺 在スル サルニ 著夕腫 自 出 拗 下 ラ 上 頗儿 咽 ルセ 1 至心故二甚 7 唉二 唤江 熊 向テ 脹レ ナハ リテ哲 困 り疼 ^ 異 腺 難 痛 抑 ス 唯 坳, 壓 被 調 = 1 部 = 變言 因 下 ス其腫 こ十 並二口 セラレ 津 存 テン 瓣 腫 角 症 ス 唾 粘液口 益 脹 7 廣 脹 11. 7 二至レハ トシテハ 徴 惠 押 粘膜鲜 甚シケレハ懸 7 カ 大口 へ 按 口尹 如 ì 外二 其 扁 兼テ 開 紅色ラ 如 乳工 桃 湧 硬 inf " 流 脉 上百

常小 經過 英勢感ナルモノハ 遺に動モスレハ些以り誘 痛 消散ス通常炎教既二消スルトモスレノ 炎熱法レカラサルモノハ數日或八數週ニレ 1日歐氏管壓迫セラル、為二聽官 之歐氏管内, 粘 心咽喉扁桃腺类 二八多以寒熱發作又心 有一方波 微色 動力 腺 現心患部二白 膜 ,表面或八深部 こモ炎ラ波及スル 因ニモ再 一十四 點ラ上シテ言 發 膿 力患 妨 腫 碍セラ PT 脹 于 ラ 7

發性 扁。= 或八咳嗽嘔吐,降偶然膿口破 八屬々炎三雅り無テ咽喉粘膜炎ラ 桃。八 若 睡し八常二軒 腺の肥 後 心機力潴留スル 深下 腫脹 肥大八炎症二機發スル者ニンテ 聽取: 困 ルフタ 著り縮 奉 う發ス而シテ既二 1 難シロラ 又通常扁桃縣急性炎,後 丁大量ナル時八破 開 闔 開江方 誘 肥 開 膿 ,腺 發之易 漏 便 7 洲 进

扁 刺 49-水 テ 自 挑 給 どり電 -3-足 他切像聚义 腺 相 21 急性 膿 缺 岩石 行七典 1) 午 慶り生スル ク 27 学 桃 英 炎 温ラ 服 *)* \ シチ P ス 後 針 一種 八八冷 頸 灯 7 日吸 7 好 水三 可ナリ婦人二在 側 计 貼 7 水 ラ > 法 蜞 しに E 和 痕 頭 i. 又八水 止痢下啊,真 1 部二 針 ヲ行 シテ含軟 ラ遺スノ忌嫌ア 下適 刺 水ノ 料 行 温 アスン炎勢利 近南ノ 五ノ 涸 被 台 テ 法 センソ若 刀尹以テ連二 -1-ヲ 嗽 頭 齊 如 1 7 施 12-很 内 i 7 静 退 脒 H 船 城 沙 ス 旅

其。區 耳 除スルニ 開る可 腺 とし次,外耳ョリ 大 ョ遺 耳ッス 於、原 腺。其 其二耳腺炎パロナ 流 .], 中 Arre (Ji) 之于為二諸 苔 性 發 若 児 = 7 カス截 臥 把[°] 加苔児性ト繼發轉移性トノニニ वि 炎。 侵 起シテ i 冷力 Ħ ī タルラーンパ胃寒或ハ 易 頸 ラ 除 妨 7 部 發之或以故, 法八手術 シ 碍 15 病 ナス 及上顏面,正味 ラナス二至ラハゼラ 「左人如シ 初 寒熱往来之食 第二群カナ " è-1) 濕

動も、 頭 症 桃 共二發シテ 此症此 九七一関 膧 服等,炎症,併 二八津雖, 沙 發熱甚らり終三危窩三迫ルファリ ラ以テ按之或八食 九美,發之或八睪丸炎化膿二傾中下於二耳 脹,患部,皮骨淡紅色,見 口內粘膜 濃 加次新 係スル 病勢ラ同シクシ ス コ J.K. モノ 1) 發、聽下。呼吸去一因 妨 加答児炎下獨腺舌下腺 物中咀嚼人八時 ニレチ 消 得セラル、フ切 散スル者 或八月 耳 腺 iテ水 炎下軍儿炎 多之又甚少墨 學學家教養 腺炎 論 而シテ 八治シ 地 痛ス又 파

寒戰之無方所々軟部月生之方 法、消炎諸法ノ外ナラス 二耳腺轉移炎ペロチャス、八望扶八截開シテ膿ラ漏と以テ痩ラグラ と綿ラ以テ被覆へ若こ耳 随帳硬結スル7基シケレハ脳 發 莉 卜疼 亨轉 開 シ其症 職毒産褥熱肺炎睪丸炎等,轉移在小 痛 シテ膿 移スルファリ トッか 状八加答児炎ト異ナルフ 答 漏し以う養ラ作ラサラン 見炎ョリモ甚ら雨 惠 腺 化膿セル確戦ア 筋脏緊張上菜痛 部三氧温養法ラ 3 ") 歸 斯熱急性 唯

静 避 シ膜下呼吸困難シ 重力 听 防 消炎法方力行と国シャニ適スレハ以テ化機 腰毒并、血液變調ョリ来レルモノ 弘前ノ終 加答児炎二比スレハ化膿二傾クモノ多ク殊 脈 ケ難以以機潰スル時八外聽道二問 ターなり クー及小石ン既二化膿ストモ膿)血 スレハ為三聽小骨ノイコル浸聽脳膜炎等 機卷之此 行 開 力妨 發シ島のシ スルフラ要セス作耳服筋腔緊張 ケ腦壓迫ノ險症ノ 腦症增進シテ終言孝以分睡 级 車 八時次 人轉 いつス 潰 移炎 7

唾 膧 湖南 原 编 其 損 脈轉緩徐 時消化ノ為二泄ス如ク多量二八非 盛 り截 樓口 八耳 傷一以上者多之然レ氏或八時發之成八膿 他 漏 漏 開 為二生スルモ 垂 口ョ 瀛 泄管中二酒 スルニ 服又, 既二皮表 7 ナル二至ラハ截開法り行う可 粘 耳 因 稠 テ 腺 透明人液ラ漏ス 開 石、所 漏泄管ノ行道二生シテ 1 發スルモノモか ロスルモノハ明野言語 P **肇謂** y 石盛 塩又凝著心成 然 利力之 レ氏其量

三连 消 沙 外一 其 知 漏 消 秦 洲省 11. 八里 息子直 息子 合い 14 坐定帯 り施ス 此 7 7 ロ内 八月 酸 送 H 八達 腺 又新 彩 銀 或 、純 漏 主達 ス 線 腺 师 ル 炎 紡 36 7 スル ラ緊 神 7 = 7 スレ 以上, 石肖 若 發 作為シラ福 入レ 7 漏 別 レル易 酸 Æ カ ア 泄 心品 壓这帶 耳 7 ス 7 ス 法 結禁法 腺 漏 1-十大害ア レス }-痛 3 7 泄管 E 一時間放養學 甚 屢 交为 + 7 7 \ 維 漏 ヺ 池 + 病 77 4 焦 リ又歌 入 [2 難 打 7 炒 r D E 福 rt. 内 1)

遊變調 浅 绩 脏 という 俄·發 病 习施 7 八块 收公 脹 症 例 灾軟 其 12 レテ ル 7 之、腺ノ一葉或八全 7 2 4 發 静 7 7 H 1 中 1 稀 或 發 稀 腺 ス而シア 胍 二見 状 八化膿二傾 腺 心呼吸購下共: 7 ラ菱小セシム 血 + ルモ 炎 1) 1 其 歸 チー 炎症 , 証八 流 ニン 元分 消 t " 紅 色 テ 腺 E 散 12 + 1 損 内熱鈍 難 法 ラード 千 1 論 傷又八胃寒 7 2 1 アレ氏亦 利 12 1) 7 1 痛 并 部 17 h 故 近 又 安力 修 腮

又八胸 恐 開 化膿 涌 全 假 時 印ノ生 泄ス可シ若 令萎縮シテ治 シテ 脈 八死二至 性甲状腺炎八室扶斯熱或八腰毒,轉移 1) 竹後 故 ノ分布 膿 テ 二、既二化膿スルヲ見八截 育: 妨碍 發 7 鄉 泄セハ腺萎縮シテ スル者多之殊二産婦 腡 ルモノナリ i スルフ多キガ 膜 白 Ē 中二膿 無 ナシ ロラ食道或八氣道三開 + カ如クニ至ルトモ電モ 计 故:截 故 湘 二十九 二體毒习發 ·蔽 溜シテ裏状 開法尹安 痕り遺へ而己 職毒ニハル症 心黑纸機 開シラ ス載 ナ スル 丰

發 剥 痛 元来 增 炎二比 脱 甚シク妹二吸 ル、二至ル又稀 管脈管神經。 進スル ン或ハ深 頭 及其口 乳 スレハ不 7 腺 時 乳 夥 乳 炎 ョリ来 輸 腺 ク裂ヶ或 -1 1 2 乳 乳 炎 コス 五 炎 腺 良 强 二八炎勢皮下給 7 井時 在或八清爛八乳婦二發 連續シテ ナル 1 ルモノ 1 乳 子 ケロ 頭 創 7 氏丰 1. ション 14 血 口 固 ス 他 乳 1 7 説ン 3 問 乳 ") 漏ス 輪 ス 其 頭炎八表 論 組織二及 組 深 ヲ ラ供 2. 豫 織 周 潰 正シ 至 爛 B 皮 病

勢 味 破裂ラナサントス九徴アラハ祭メテ之ラ際 裂スル者 巧 為 乳 スヘレ 乳腺 頭 乳 ノ變スルラ以テ見ノ哺乳スルー流分ナ 一乳汁漏泄管一積溢シテ乳房緊端スルニ 近傍 頭ニテ乳 海浴液,塗布ス乳汁欝積シテ緊張二苦 一波 乃チ冷湯法洗浄法脂劑 ノ皮 八脂 及スレ気哺乳センソン 類り堂布レスハ硝 頭ラ覆護 下二膿腫 スクリショ ラ作 為 ノ企擦 頭 酸 心學大點 銀式 用 法成 り且 7 访

珍スルファ 末 或八山 過 乳 吸 痂 汁,吸 ハンムル二女ナリト云り独レモ子木タ 腺 7 用 2 久ナル者トニ發ス成女期又ハ經 組織炎八多分産 利 七乙姓婦産婦等二八兼テ乳 ラ貼シを可ナリ 落シテ 兹 アリ若 站末 出セジム西人八山 ヨークラ以テ乳頭ラ被 心急性發 7 固 撒 脂 り塗擦シ又八布片二脂 布シテリナリ慢 婦新乳ノ者ト 勝ナラハリコボン **時大子**猫 頭乳 覆シ徐 行時 哺 性 ナラ 兜: 乳 輪

症候 債 洲 何 法 ス () 投スレハ劇 及 限ノ一葉炎証ラ發スル時八直二延ラ数葉 ル者 宜シキニ適 と易力皮表緊張亦腫シテ純痛し若し指 ルラ鋼 ニア 並經過 天然二委子テ炎勢消散スルイアリ又ハ ニア ラ P 知人又無テ寒戦心患側ノ液 墨 F) 痛之炎証ヲ發スル葉々ハ硬 但シ腺 極 巡 シテ始タテ消散スルフアリー若シ メテ稀ナリ其原由八乳 ラ損傷シテ發スル者 心陽氏機威 F 公結節 腺腫 ・・・テ 泔

療法 腺禁腫脹スル者ハ人巧乳頭ラ装置シテ蒙防ス 為又此屬八頑固ニシテ治之難ク假令愈合スト 消散セスシテ炎勢増進スルモノハ八日乃至十 モスシク硬給ラ遺ス 刺戟セラレテ炎勢増進レ近傍ノ腺業ニ及し 近所二開口ス ノ所々二小膿腫ラ生ン漏口過小ナル時八常 後化膿り北ラ見シニニョの經テ自ラ乳頭 多ノ膿腫膿電ラ生ン終二腔道或い漏ッ作

常二 截 ラ賞馨ス温巴布ハヨノ炎 得 答 截 シ若シシカ スル者 八味 ル二至ラハ充分一截開 口 ラ ロ、長カラサルラ要ス若シ膿 渦 傷 開 ヨリ示 法 頭刀ヲ以テ示 ラサラシ スルニハ乳頭二向と極 ラ施 t り其他榜帯ラ施 指ラ入レ膿 為二炎ラ發スル二重 シテ属 7 ヲ 耍 潤 清 ラ博へテ載 ス先ッ ナラシム 腫中ラ探 シテ 7 シテ 消 火 メテ 膿 シ 乳 り結 化 ì 若 腫腔中二中膈 ヺ 二四門於機城城 膿 ラハ " 易力 開 小心シテ 漏 シ 膿 截 組 ス ス 硬 温 保 結 愁 腫 7 巴 熱尚 生 伹 解 布。 E

底二達センメテ截口ノ癒合ラ防ク若シ膿漬 四週ニレテ治スレモ若 內芽 自 油ラ布 ム可心總テ截 可 時国二適心病勢威ナラサル時八三週乃至 小口ラ處々二開カ八截テ其各口ラ通 1 7 力 開 ラス既二截開シテ腰汁ラ漏サハル 片一醮浸シテ載ロョリ 促ス可シ ロラ i 創 開 口卜 開後八巴布ラ貼シテ硬結ラ カハ截開シテ其ロョ大ニス 通センムト 心腔道ラ 柿入レ膿 モ亦截口八長 存スルコ多 植 可 解

孩 發 丙 7 人并充了軍處之 强 痛, ス級 ا ا 八股河方 くは、 シ羽線 别 肠 17 17 就: 腺 徳に指 桥 スつ題等 祖 と行 稀 後 省一 除術 站組織炎 クルら 海 見見 、化膿スルー緩慢 か之深所三壓 頭ニテ患所ラ 日ヲ 儿症 7 bri 發 腫 九 要 2 心影 2 純 ル 、特 スル 硬結甚シキ者八年余猶 ナリ或い胸 1 1 竹,皮唇,红 僅 ス 發之或八胸 アリが水 至 カ .接 以 , _ 如 スト 膜 7 一切問人是敬爱 3 省 炎 いはシク 色 速 門:疾 肺 腺 一胸 = 化 7,1 炎 ナラ 炎 广并 ,化 女口 7.7 爱 收、 治

No. of the same リス 後寒機煙 睪丸炎八特 宜シク注 丸 尿管ブレノレー 乳管十 -7 法,家 ブレノレー美ト名ック多クハ睪丸腺質炎ト 八直一線ラ通貫ンテ截開スルフ 法 其王睪丸炎ラルシチス トス但も周 膿 初二ヨリ 意ス可シ 膧 り生スル者アリ 發之又八膣膜或八副睪丸炎二併 上通シテ乳二膿汁ラ混スル設 波動アル野ヲ認ノラ截開人 炎ョリ發スルフアリジョ要 園ノ一げョリ截 開スル 7 1) STA TO 發

按 偏 症 急性陰震 灰 由戶時 膣 低 順炎 方ノ罪 ラ發 12 孩、 必後 加 レ次テ睪丸二及 上副睪丸炎 、痛 丸 水 レ除妻 ニル 感 腫 甚シク 双外 之 方傷 沟。 水 并 1 7 代 腫 膟 トラ合併 症 七又、膿汁或、 7 膜 状 1 條 怜も睾丸 之 月 7 炎 习以五日又可 E 7 军 ì. 膧 就 九梅 脹 炎 緊張 1 2 知思然 数阪 击 1ÚL 北ツ 川 類 液 他 柏主西 波 1 副 洪 参 2. 墨 重力 診 漏 7

翠 經 行十七 過 九 動 ル 滑 战 腹 重り 坳 E 澤 力 滿 出 腫ラナン或ハ壊疽二階 消 スレハ 難 かり 腫 シ提睪 又此每二疼痛增劇不時 アリ其疾痛八緊 散レテ 版七川精系、熊僕管中二科家とラ 箱 特 兼り發熱し陰囊ノ忠例知時 长 , 傳 的 吸收セラル、フ 類ブレウクト誤認ス 拘急レテ軍九ノ遊蹊管三奉 八月万世 張眼近シア破裂 ルファ 部會除三連シ T トレノハ y 7 或八化膿 若シ病 寇 答 分仪

等级 十二 等八 十二 千

勢劇 性 レテ 溢 圻 膿 メサル可シ 然 腺質變シテ 睪丸炎二八病 罪丸全少能 二精 セルル 出心壞疽 トレテハ膿 波 逃ナラ 動ラ 系二及七體 书 ラ久シク放 7). 既 长 .現. スル 結 ルモノハ睪丸硬結レテ X. 腫 i = ,) 2 化 祁刀 7 終二開 組 開ロレテ 北 織二化乙故二急性並二次急 ョリ注意レテ養小二傾 膿スレハ一局所必ス柔 小共 ルニ至ル P 7 置 凡ソ腺 二沙乙 スレハ ロレテ 後手粮人實質割口二 三十五 }-腔 膿 質八其状恰王腰 道 精液トラ 汁ラ 二四里 大城城 7 終 作 漏 スル 為 涌 化

刺戟薬ノ法 療法 ヤラッ。ピノ下劑ヲ與へ全身ノ勞動ヲ禁シ睪丸 病 有害物ラ芝除い各般 ラ施 アリ 甚レケレハ阿片劑 此症 ル者居多 類 トモ炎勢ノ威 和人 ケレハ阿片劑ヲ與フ此病ニハ巴布ヲ以シテ局處ヲ安保レ渦法也布等ヲ施レ疾 膿 セル者ナレハ誤認シテ之ラ傷ファ 射等习禁 腫ハ ナリ 沽 ス ノ刺 トモ硬結ヲ遺レテ終二菱 レ便通ラヨ ナル時ハブーン 衝ヲ避ケ假令尿道ニ クシ時々甘 1

こうない こうない こういこう

テ治 多 m. 用 15 刺 7 傷 う終二炎勢减退レテ全り消滅スルニ至レハ ノ質 液 水雕习發之戶緊痛甚心中時八皮下截入法 ヒス且用フトモ決シテ久シ 开九为 卷 之北 レデ 压 二因 ,充積甚シキカ為二局所減加ラ要スル 湯 為血ス可レ若心睾丸炎上同時心以露 并不 殿二徴スルニ冷湯ハ終ニ硬結ョ致 リテ炎勢ノ威ナル者 法八上二出八一法 銊 ラ用 フ可カラス除囊皮表ノ静脈 トス殊二冷湯 力 二非 ル 一口思於上敬 可力 サレ ハン ラ 易

帯諸法中フリツケ氏ノ法ョ貴フ其他コロ 編帯ョ施に歴史レテ渗出物ノ吸收ラ惟進ス編 ランラ塗布スル法アレモ疼痛レテや効ナン フリッケ氏ノ陰裏帯八絆創膏ヲ細ノ截製シ 之ラ以テ第十八圖ノ如り巻クナリ 第十八圖

学了二十五

力間

マヨル氏三角宝

指帯 ゴムエラスチカ監裏機帯

第二十圖

布ヲ貼ス可し硬給久しり遺残セハ水銀軟膏ヲ

機随生スルニ至ラハ法二随テ截開に久シク巴

いいりるにととと

:成八沃陳丁幾二沃陳加留母月加八千塗

三十七一一人是人家一天



二炎症二雅儿時八睪九上副墨九十日確 ス終 防スルヲ專要ト 方可賞川、其他久之力擔帯力施サスンハアラ 然り遺スモノ多と岩;睪九副睪丸共二同 テ硬結疼痛亡觸 硬結又八肥大硬結力致之炎勢散之下後 墨丸炎、淋疾=併發スルモノ多シ多 立立 附 水銀軟膏二夫鳩各越去私习伍七八金 副睾丸炎エビジデーシチ を対した 在ョ治スルニハ硬結後ノ養小ラ豫 ス 松スレハ疼痛増加ス終ニ 石黑白龍房 ス 17. 知心難 尚水 腫

圓 手為過度冒寒外傷等二因テ發ス年齡八成男 賞用ス硬給ラ遺ス者モ睪丸硬結ラ治スルト 療法、睾丸炎、異ナラス乃チ安保、梅帯、巴布、ラ スシテルシク前二在 上年光夕 版之七 三於ケルー十ノ七八二居ル其他尿石破碎或ハ 掃護腺炎、特發スルモノ稀ニシテ 炎勢 ことテ後方:在ルラ副睪丸ト心甚夕堅 其六攝護腺炎プロスタチチ 時減退シテ後指ラ以テ摸索スルニ ルラ睪九トス 一一口思文主教孩 多クハ淋 カ 0

至ル 灼 入スレハ疼痛シテ入り難り時二八血 シ亀頭、 バルサム等一誤 勢威ナラサル者ハ消散シ又ハ 示 テ快 症 管膀胱ノ腐 スル 指 状、膀胱頸二刺ス 通セス或ハ閉 ヺ ヲ 肛 冠二者丰疼痛习覺工或八小便 觸 門ニ入レテ探レハ攝護 触 知又若心尿管工力 朝注入法或ハギュベバラッ 用モ亦 上シ大便マルニモ 力 此炎ラ 如丰痛 誘 治シテ慢性 テ 7 發 1 腺腫大シ 起スルフ 7 ì テ ,]. 亦疼痛 漏 滴 便 瀝 スニ テ Y

てよれ

シドルエー

粘 2 採 病 尿 完 城 睡 液 門,起又故二此 ラ天然二季シテ ルラ梅 十七万 惠 記 脓 劇 腺 7 ラ遺 肥下り冷 ノ一葉ニ上マルアリスハ全 七十後谷八 テ 入上級テ膿潰部ラ貫穿 精液 英之 局所录 レ利尿 jiV-トスレ氏状ラスコウ K 直腸或八尿道下孔习穿 化 後 病二原 軟 坳 膿 ニシテ通 稠厚, ノ外ナラ - 傾十築 因スル 粘 三十九 液力 常其壓迫人為 尿 ス・ル 痛立直 明= 涌 腺ニ及ファ って上腺 7 ス惠 腸 77 通 3 1)

截 攝。 射シテ清 銀膏擦入內服二八ピッタ氏八舍炭酸曹達 賞用 或ハ腺ノ所マニ小膿電ヲナスモノ 護腺肥大、愛々見い証ナル故二一言セサル 開レテ膿 清 八膿 腺結石ラ化生スルフ スギン 附 般ナレモ外 潰變シテ 掛護線肥大 洗スレハ癒 7 排 既 泄し時々 脂 化 用二八坐浴温巴布會陰工水 膿セルモノハ肛 防又八加爾基二化之所謂 ルて難 創 7 7 カ P ラス 3 ŋ 微温湯 門 7 1) 内 鑛 7 11

* まい

中葉 症候 診定スルニハ小心注意シテガテーテルョ梅 尿 正亦壓迫又故:尿通不利又以尿閉,起又了猶 構護服肥大スレハ膀胱頭ラ上方二厘レ尿管ラ 1年記り を2 道族なこかケルカ如シ 沚 動モスレハ拳大二至ル此病少年ノ人二少ナ 假性肥大サナ 年以上老人二多之其他癌然被結石等人為 ,一部肥大スル者多心其大サハ鷄卵大ヨ 八分腺 肥大スル者ハルナクレテ偏方或 スモノ K P 里十

ク。尿管狭窄,如丰諸險症,發ス乃手膀胱加 児同結石。同麻痺等ニレテ終ニ尿閉或八腎化 經過 治スレ氏老年ニシテ 少 ス シ 年ニシラ病度高カラサルモノハクシクシ 四處 レハ保管ノ偏 心レテ諸方二国轉センフラ要ス 如シ故ニカテ ヺ ラ生之尿ノ通利ラ妨ヶ恰モ中膈ラ生ス 以于直腸ョリ探究スルラ要ス偏方肥大 方狹窄と中葉肥大スレハ尿管 ーテルラ梅入スルニ必ス徐 病度高ケレハ甚り治 ン雑

既二肥 體 療 約 入法习賞入祖 入法ョ 家り 筋 故二嚴二攝生尹守 カノ緊張ヲ禁ス何トナレ 痙攣スルー甚レケレハ 行上勝 大三至レルモノハ必ス之ヲ治ス 經験二徴スレハ一日三回ガテー シカテーテルラ 脱二麻痺アル者二八無テ冷 ラシメ 諸 四十 頑 梅入スルニ其 之力為 一膀胱 刺 固,尿 衝 ラ遊ケ 阴 12 7 さんべん 水注 法 捕 括

困 難 テ 狭窄 + 法 シテ其 自 玉患者二教 毛 次四二梅入入儿時甚多易之故二此 起 12 トス時トン 12 約卷之七終 梅入 部 E 因 E 1 1 ず擴 捕 ス ル狭 セシ 置 ,1 ハ挿入シ得 セル間 尿管狭窄截垢術为行 ヘテカ 張ス可シ如 ムルフ テハーニ日 電八殊二截拓術, 時々カテ テーテ ョ貴 テ後一二時間 此スレ、一旦 董虾本多徵寫字 心挿入法 間 フ若 1 抽 テルタ 置スルフ がかれ 謹 7 梅置ス 然 7 一拔除 摇 症 習 重力 7 テ



